

令和元年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	2	基本目標名	安全で快適な暮らしやすいまち						
施策No.	19	施策名	総合交通体系の整備						
主管課名	環境安全課								
関係課名	建設課、都市計画課、企画政策課								
施策が目指す点	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが利用しやすい公共交通が整っています。 市民バスは、安全・安心な運行で、多くの人に利用されています。 駅が整備され、乗り換えが便利になっています。 駅を中心としたまちづくりで、地域が活性化しています。 								
施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市民・事業所	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に鉄道やバスなど公共交通機関を利用します。 公共交通が利用しやすくなるための意見や提案を積極的に行います。 							
	行政	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利便性の向上について、関係機関等に働きかけ等を行います。 魚津市民バス、地鉄バス市内路線について、路線の整備、利用のPRを図ります。 公共交通に関する各種団体及び機関からなる公共交通活性化会議を行います。 							
	その他（地域）								
施策を実行するうえで基本となる事業	基本事業①	公共交通ネットワークの充実							
	基本事業②	市民バス体系の強化							
	基本事業③	在来線の利便性向上							
	基本事業④								
施策のトータルコスト	区 分		単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	4 (4)	5 (5)	4 (4)	4 (4)	2 (2)	3 (3)
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	2 (2)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	1 (1)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	1 (1)
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	90,511	102,929	135,774	148,439	117,882	113,821
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	13,542	32,403	40,925	51,034	41,614	12,084
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	76,821	68,928	69,105	76,225	76,268	74,083
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	148	1,598	25,744	21,180	0	27,654
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	10	12	9	9	7	7	
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	3,100	4,660	5,600	5,600	4,760	2,800	
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	13,584	19,483	23,022	22,551	19,097	12,191	
F. トータルコスト（B+E）		千円	104,095	122,412	158,796	170,990	136,979	126,012	
効率性指標	市民1人あたりにおける施策の		円	2,078	2,385	3,179	3,506	2,798	2,731
	G. 事業費（定義式：B/人口）								
	同 上		円	312	452	539	533	453	293
	H. 人件費（定義式：E/人口）								
同 上		円	2,390	2,837	3,718	4,039	3,251	3,024	
I. トータルコスト（定義式：F/人口）									
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	4,382	4,181	4,111	4,027	4,012	4,354
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	43,555	43,152	42,706	42,340	42,132	41,672

基本事業概要シート①

施策 No.	19	施策名	総合交通体系の整備
基本事業名	①公共交通ネットワークの充実		
基本事業の目的(意図)	誰もが利用しやすい公共交通が整っています。 駅を中心としたまちづくりで、地域が活性化しています。		
令和元年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【公共交通対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒部宇奈月温泉駅と魚津市内を結ぶ「予約式乗合タクシー(おもてなし魚津直行便)」「(魚津タクシー協会運行)の運行に対する支援を行いました。 ・富山地方鉄道の安全輸送、利用促進のための西魚津駅～宇奈月温泉駅間の増便やアテンダントの配置等を行うため、県・沿線自治体で支援しました。 ・あいの風とやま鉄道の経営安定基金(県設立)へ県・県内自治体・民間とともに拠出しました。 ・富山地方鉄道の市内路線バスの市民バス並料金化と夕方の増便を行うための支援を国・県とともに行いました。 ・県、黒部市、地鉄とアルペンライナーの魚津IC停車に伴う費用負担を行いました。 <p>【市営駐車場維持管理事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅南駐車場の維持管理(料金回収、保守点検、トラブル対応等)を適切に行いました。 ・回数駐車券の販売については、引き続き魚津市観光協会に委託し、販売時間の延長、休日販売を行い購入サービスの向上を図りました。(環境安全課内の販売も継続中) 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
市内公共交通利用者数	人	3,170,563	3,113,029	2,773,297	2,740,000 2,742,266	2,710,000 2,770,174	2,690,000 2,795,907	2,660,000 2,613,511	2,630,000
市内公共交通運行便数(平日)(便/日)	本	293	301	304	301 311	299 309	297 305	294 309	292

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和元年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 公共交通対策事業	44,902,000	12,084,491	32,817,509	A	環境安全課
2	一般会計	市営駐車場維持管理事業(施策13①再掲)	(1,905,875)	(1,731,802)	(174,073)	-	環境安全課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			44,902,000	12,084,491	32,817,509		

基本事業概要シート②

施策 No.	19	施策名	総合交通体系の整備
基本事業名	②市民バス体系の強化		
基本事業の目的(意図)	市民バスは、安全・安心な運行で、多くの人に利用されています。		
令和元年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【魚津市民バス運行事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民バスの利用促進の一環として「バス無料デイ」を実施したほか、富山地方鉄道株式会社や近隣自治体とともに、「親子でおでかけ事業」を実施しました。 ・市街地巡回ルートの夕方1便の継続的な増便運行(帰宅時等の通勤・通学者対策)を実施しました。 ・郊外ルートの安全運行管理体制の強化等のため、交通事業者への委託を行いました。併せて、運転手不足に対応するため、交通事業者や各地域の利用促進協議会とともに、各地域を通じた情報提供方法の構築を行いました。 ・「魚津市民バス等利用促進協議会」を年2回開催し、各地域の利用促進活動について情報共有を図るとともに、要望の地区間調整を行いながら、令和2年度のダイヤ編成を行いました。 ・富山県が主導し、バスの位置情報を提供する「とやまロケーションシステム」を構築し令和元年11月に稼働を開始したことで、バス利用者の利便性向上を図ることができました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
市民バスの利用者数	人	180,020	175,324	158,327	156,000 143,409	154,000 138,512	153,000 142,004	151,000 133,698	140,000

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和元年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 魚津市民バス運行事業	81,341,000	74,082,876	7,258,124	A	環境安全課
2					0		
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			81,341,000	74,082,876	7,258,124		

基本事業概要シート③

施策 No.	19	施策名	総合交通体系の整備
基本事業名	③在来線の利便性向上		
基本事業の目的(意図)	駅が整備され、乗り換えが便利になっています。 駅を中心としたまちづくりで、地域が活性化しています。		
令和元年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【魚津駅・新魚津駅及び駅前広場等整備事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり協議会を2回開催し、駅周辺を中心としたまちづくりを推進するため、賑わいと活力あるまちの将来像と新しい魚津駅・新魚津駅周辺のおおむね20年後の姿を描いた「魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり基本構想」を策定しました。 <p>【公共交通対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山地方鉄道の安全輸送、利用促進のための西魚津駅～宇奈月温泉駅間の増便やアテンダントの配置等を行うため、県・沿線自治体で支援しました。 ・あいの風とやま鉄道の経営安定基金(県設立)へ県・県内自治体・民間とともに拠出しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
市内富山地方鉄道駅利用者数	人	1,163,000	1,198,000	1,222,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
					1,217,000	1,278,000	1,295,000	1,174,025	
あいの風とやま鉄道・魚津駅利用者数	人	—	—	1,387,730	1,366,000	1,352,000	1,345,000	1,331,000	1,317,000
					1,372,400	1,344,660	1,314,782	1,260,622	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和元年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 鉄道交通対策事業	28,550,467	27,654,122	896,345	B	都市計画課
2	一般会計	○ 魚津駅・新魚津駅周辺整備事業(施策14②再掲)	(68,007,000)	(24,028,617)	(43,978,383)	B	都市計画課
3	一般会計	○ 公共交通対策事業(施策19①再掲)	(44,902,000)	(12,084,491)	(32,817,509)	A	都市計画課
4							
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			28,550,467	27,654,122	896,345		

施策 No.	19	施策名	総合交通体系の整備
令和元年度の 評価結果(基本 事業の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①公共交通ネットワークの構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆鉄道やバスなどの公共交通利用者は、平成28年度まで減少傾向にあったものの、平成29年度以降は増加に転じていましたが、新型コロナウイルスの影響により令和2年3月の利用者が昨年度の同時期と比べると減少しています。 ◆「予約式乗合タクシー(おもてなし魚津直行便)」利用者は平成28年度までの増加傾向から平成29年度は3.6%減となりました。平成30年度には前年比6.3%増となり、利用者数は好転したものの、令和元年(平成31年)度は、国内における大規模災害(大型台風の上陸や、河川の氾濫等)の影響もあり、前年比23.1%減となりました。 <p>【②市民バス体系の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津市民バスについては、市街地巡回ルート及び郊外型フルートが運行され、平成25年度まで利用者は年々増加傾向にあったものの、平成26年6月の料金改定と、利用が期待される層の免許保有率の上昇に伴い、平成26年度から平成29年度までは利用者の減少が続きました。しかし、平成30年4月から、中学生及び高校生の乗車料金を1乗車100円とした効果もあり、年間利用者は増加に転じました。また、近隣の市町とは置かれている状況が異なるため、一概に比較はできませんが、人口に対する路線数や運行頻度は他市町よりも利便性が比較的高く、かつコストも高くない水準で運営しています。 ◆市民バスにおいては、交通空白地域を解消するための取組を沿線地域とともに進めており、その結果、バスによる運行が可能な地域では、交通空白地域は概ね解消されていると考えています。地鉄バス料金の市民バス並料金化も考慮すると、全市的に均一料金での運行がなされ、利用者アンケートでも概ね評価を得ています。 <p>【③在来線の利便性向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地鉄線の乗降客数(市内4駅合計)は平成29年度から2年連続で増加しました。また、あいの風線は、平成27年3月のJRからの経営譲渡時に特急電車が廃止された影響で利用者が減少し、以降減少傾向が続いています。また、新型コロナウイルスの影響により令和2年3月の利用者が昨年度の同時期と比べると減少しています。 ◆魚津駅と新魚津駅の利便性について、地下道を利用しての乗り継ぎとなっているため不便さがあり、新魚津駅のバリアフリー化(EV設置)が未整備となっています。 		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和元年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)		
<p>【①公共交通ネットワークの構築】</p> <p><公共交通対策事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域のバス利用促進協議会とともに、各ルートの魚津駅等での電車と魚津市民バス等の接続へ配慮したダイヤづくりを行ったほか、市民バス時刻表への地鉄・バス・電車等の時刻の掲載を行うことにより、利便性の高いダイヤ・ルートの提供ができました。 ◆魚津市公共交通活性化会議等を運営し、市民、関係者、関連事業者等との協議の中から、市民バスのあり方、地鉄バスの市民バス並料金化による運行、魚津駅等の整備等、魚津市が目指す鉄道・バス等公共交通のあり方を検討し、検討結果を実際の運行や施策に反映しました。 ◆地鉄線については、運行の安全性や利便性向上のため、老朽化した枕木の交換や、運行本数の確保などについて、県や沿線市町とともに支援しました。 <p>【②市民バス体系の強化】</p> <p><魚津市民バス事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市街地巡回ルートの夕方の増便実験、地鉄バス料金の市民バス並料金化、利用促進イベント、ニーズ調査の実施など、費用対効果も見極めながら、できる限り利用者のニーズを踏まえた運行を行っていますが、人口減や免許を保有する高齢者増など構造的な要因もあり、平成26年度からは利用数が減少傾向にあります。この傾向に歯止めをかけるべく、各地域の「魚津市民バス等利用促進協議会」などが主体的に利用促進活動を展開しています。 <p>【③在来線の利便性向上】</p> <p><魚津駅・新魚津駅及び駅前広場等整備事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり協議会を2回開催しました。平成30年度の協議会等では、まちづくりの方向性の検討や駅整備の比較検討案を提示しましたが、案の絞り込みまでには至らなかったため、駅舎を中心のまちづくりから、駅周辺を中心としたまちづくりへと考え方を転換し、駅前広場整備を短期整備、駅舎整備を長期整備として位置づけ、整備を進めることとしました。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①公共交通ネットワークの構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津市公共交通活性化会議等の運営や、様々な会合等の機会をとらえて、市民、関係者、関連事業者等と意思疎通を十分に行い、魚津市が目指す持続可能な鉄道・バス等公共交通のあり方を引き続き検討します。 ◆引き続き安全・安心に利用できる鉄道環境の整備及び魅力・快適性アップのための各種対策等への支援を行うことにより、利用者数の維持に努めます。 ◆「予約式乗合タクシー(おもてなし魚津直行便)」については、魚津市内及び近隣自治体の企業に宣伝するなど、利用者増に努めます。 <p>【②市民バス体系の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆利用者数については、人口減や免許を保有する高齢者増などの影響が大きいと思われます。平成30年4月の「中学生及び高校生の乗車料金100円化」以降、通勤通学に利用される路線においては大幅に利用者が増加したにも関わらず、市民バス全体の利用者数が前年と比較しわずかな増加にとどまったのは、買い物・通院といった日中～夕方時間帯に利用する主に年配のお客様が大幅に減少していることが原因と思われます。年配のお客様をターゲットとした利用促進の強化や、各地域における利用促進活動との連携、ルートの見直しやダイヤの見直しなども行いながら、利用者及び収入増加を目標に取り組みます。 <p>【③在来線の利便性向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市内における交通結節点において、引き続き市民、事業者とともに電車・バス・レンタサイクル等公共交通の利用促進の取組を行います。 ◆魚津駅・新魚津駅及び周辺の基本構想を基に、駅前広場整備を進めるとともに、駅舎整備について引き続き各関係機関と協議を進めます。 ◆あいの風とやま鉄道等の利便性向上や駅機能強化のための要望活動を引き続き実施します。 			